

集まろう

第95回千葉県中央

つながろう

CHIBAROREN

メーデー



働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう！ (メインスローガン)

ひとりひとりが大事にされる社会へ



市民のみなさまへ
ひとりひとりが自分らしく生き、
大事にされる社会をめざして、
私たちは働くものの声を集めて
メーデーを開催しています。地域のみなさまの
ご理解をお願いいたします。

※参加団体・労組へ
会場内で署名・宣伝・
販売を希望する組織は
事前に事務局に連絡して
登録してください。

産直野菜など
模擬店も出します



最新情報はこちらの特設サイトをチェック

5.1 水

雨天決行
内容が変更になる場合があります

千葉市中央公園

式典10:40~11:30



10:15オープニング 「まちづくり千葉」による和太鼓演奏



主催

第95回千葉県メーデー実行委員会

千葉市中央区長洲1-10-8

自治体福祉センター3F

千葉労連内

TEL 043-225-5576

FAX 043-221-0138



最賃Tシャツ1,500円で販売

集まろう

つながろう

MAY DAY

Let's GO!



2024
第95回
メーデー

変えるのは私たち ひとりひとりが大事にされる社会へ

メーデーの歴史は労働者の100年を超えるたたかいの歴史

最初のメーデーが世界で行われたのが1890年5月1日。今日では「働く者の祭典」としてお祭りのイメージが強くなっていますが、その歴史には労働者のたたかいが深く刻まれています。

●8時間労働を要求～メーデーの起源

メーデーの発端は1886年、14～18時間労働が横行する米国シカゴで「8時間労働制」を要求して行った労働組合のゼネスト（産業・地域ごとの一斉ストライキ）とデモです。人間らしい生活を求めたストライキは警察による弾圧で死傷者が続出、犯人不明の爆発事件を口実に指導者の逮捕・処刑（後に無罪）によって、労働運動は窮地に陥ります（ハイ・マーケット事件）。シカゴの労働者に世界的に連帯しようと、1890年5月に米国だけでなく、欧州やオーストラリア、南米などの各国で一斉に国際メーデーが行われました。

●弾圧下でも1万人参加～日本のメーデー

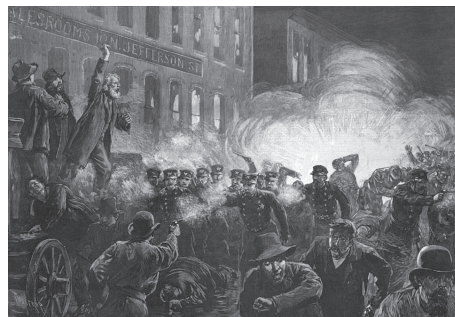
日本で初めてのメーデーは1920年5月2日。当時は警察による取締りが厳しく、ピラマキや集会をただけで逮捕される時代でした。それでも1万人以上が参加して最低賃金法の制定などを求めました。しかし、1936年の「二・二六事件」の影響で以後の開催は禁止されました。

メーデーが復活したのは戦後の1946年。軍服やモンペ姿の労働者が東京だけで50万人集まり、「働けるだけ食わせろ」と要求しました。その後、反戦運動や人員合理化反対、公害など世相を反映したメーデーが毎年行われています。

●95回を迎えるメーデー

2020年から世界的に流行している新型コロナウイルスの影響で、2022年までは全国各地のメーデー集会を開催することが困難になっていましたが、昨年からは全国各地で集会が再開されています。

平日開催で会場近隣のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いするとともに、物価高対策や大軍拡・大増税反対など多くの要求を訴えていきますので、幅広くご参加をお待ちしております。



ハイ・マーケット事件=1886年5月4日



日本の第1回メーデー=1920年5月2日

働くものの団結で生活と権利を守り、 平和と民主主義、中立の日本をめざそう

スローガン
(一部抜粋)

- 今すぐ最低賃金を1500円以上に! 全国一律最賃制へ法改正を
- 物価上昇を上回る大幅賃上げを
- 過労死をなくそう
- ジェンダー平等へ! あらゆる性差別をなくそう
- いのちと暮らしをまもる社会に
- 紙の保険証とマイナンバーカードの一本化にNO!
- 社会保障の拡充を
- 年金の引き下げにNO!
- 原発ゼロ! 再生可能エネルギーへ転換を
- 食料自給率UP! 学校給食を無償に
- 能登半島地震の被災者支援を
- 日本政府は核兵器禁止条約の批准を
- ロシアはウクライナ侵略やめろ、パレスチナの即時停戦を!
- 大軍拡・大増税NO! 憲法を変える動きにNO!
- 市民と野党の共闘で岸田政権を退陣させよう! 力をあわせて政治を変えよう